

令和3年度 第36回福井県教育総合研究所 研究発表会

テーマ 「個性を引き出し 学びを楽しむ福井の教育」

Society5.0をたくましく生きる子どもたちの「深い学び」をどのように実現するか、それを教師はどう支えるべきかについて考える。

1 研究発表会のポイント

福井県教育総合研究所の取組みを全国に発信するとともに、当所所員および県内の教員の各種研究や教育実践等の発表を基に協議・交流し、互いに学び合い高め合う場とすることにより、学校力・教師力向上を目指す。

2 研究発表の主な内容

(1) 新学習指導要領に基づいた授業づくり

① 授業改善研究

「小学算数、中学数学」における統計的な問題解決を経験できるPPDACサイクルを活用した授業の提案

段階的に行う対話的な活動を取り入れた主体的・対話的で深い学びに至る英語の授業研究

マイクロスケール実験の手法を用いた理科実験教材の開発

福井大学教育学部附属義務教育学校でのプロジェクト型学習の授業づくり

② 高校における授業づくりの実践発表

Google Workspaceを活用した高校地理授業の実践

芸術と他教科をつなぐSTEAM教育の実践

③ 福井県学力調査の新たな取組み

新たに導入したオンラインによる質問調査の結果分析からの報告

④ タブレット端末活用推進プロジェクト

タブレット端末活用による学びの変化と児童・生徒の変容の報告

(2) 継続した研究成果の発表

① 福井県版ポジティブ教育

小中一貫校および市全体で行った実践研究報告

② 学校マネジメント研修成果

学校マネジメント研修の研修生による実践報告

③ 教育相談

適応指導教室でのピア・サポートとソーシャルスキルトレーニングの実践報告

④ 教育博物館

特別展 「わたし、先生になる！～鯖江女子師範学校での学び」の実践報告

(3) 県外派遣教員による発表

千代田区麹町中学校の様々な取組みとAI型タブレット教材等を用いた学びの報告

3 講演会 「主体的・対話的で深い学び」の実現と学習評価

國學院大學人間開発学部 教授 田村 学 氏

新学習指導要領においては、児童・生徒が学校教育の中で身につけるべき力について、「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの観点について説明している。これらの力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」の指導の在り方と学習評価の一体化についての講演である。